

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ハッピーテラス小山教室		
○保護者評価実施期間	令和8年 2月 1日		～ 令和8年 2月 20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	33	(回答者数) 25
○従業者評価実施期間	令和8年 2月 1日		～ 令和8年 2月 20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 2月 21日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・小集団・個別の療育スタイルを選べる又は併用できることで、より一人一人に合った支援を行なうことが出来る。 ・就学時の放デイ利用希望に対しても同市内の他教室への移行相談を行なっている。	・ご家庭や関係機関と相談しながら、発達段階や困りごとを共有し支援方法を協議している。その中で小集団から個別、個別から小集団への移行の要望や併用の要望が出てきた際には対応できる体制を整えている。 ・放デイ利用に関する情報や同市内の他教室への移行相談を行なっている。	・小集団・個別それぞれのメリットや空き状況などをご家庭にも周知し、参考にして頂けるようにする。 ・他教室と連携を取りながらスムーズに移行できるようにしていく
2	・送迎の実施。保護者様の送迎負担の軽減により療育にしやすい環境になっている。	・園に対して、送迎職員の顔写真や毎月の送迎表の配布などを行ない、安心して送迎をご利用いただけるよう努めている。	・安全に送迎を行なえるよう、職員への指導、研修などをより強化していく。
3	・イベントの実施。イベントを通し様々な経験や利用曜日以外の他児との関わりを持つことができる。	・家庭では取り組みにくい活動を中心に企画し、様々な経験ができる機会を作っている。	・イベント内容の希望を取り、よりニーズに合った企画をしていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・送迎利用者に対しての、フィードバックが不十分と感じられることがある。	・親子分離での療育の為、施設やトレーニング内容を実際に見て頂く機会が少ない。	・定期面談とは別に、必要に応じて面談や電話での支援相談などを行なっていることを周知していく。
2	・保護者同士の交流の場を設ける機会がない。	・教室の広さや駐車場の問題などで開催しにくい状況になっている。	・開催方法や開催場所を検討し要望があった際には応えられるようにしていく。
3	・施設内の環境やトレーニングを見て頂く機会が少ない。	・親子分離での療育の為、施設やトレーニング内容を実際に見て頂く機会が少ない。	・通信で毎月の取り組みを伝えていくことに加え、見学できることを周知していく。